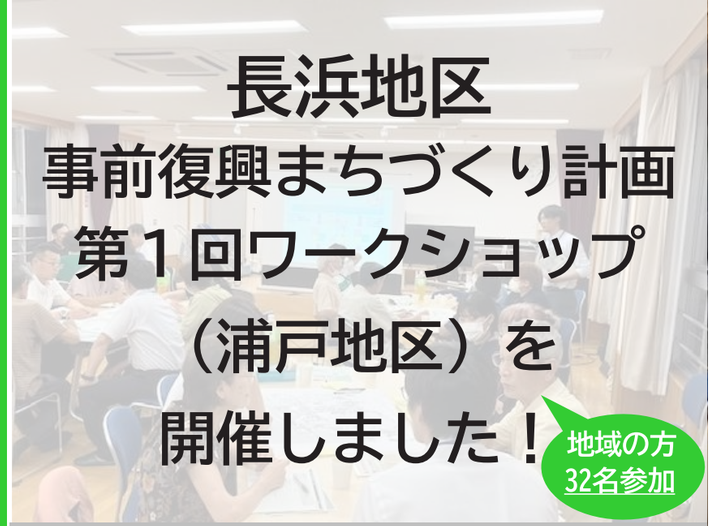
高知市 事前復興まちづくりニュース VOL.1

R８．９．16



長浜地区 事前復興まちづくり計画 第１回ワークショップ（浦戸地区）を開催しました！

地域の方 32名参加

ワーク１は２ページ、ワーク２は３ページ、
ワーク３は４ページに表示しております

７月24日（金）、浦戸ふれあいセンターにて、長浜地区事前復興まちづくり計画第１回ワークショップ（浦戸地区）を開催しました。ワーク１では**「浦戸地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていること」**、ワーク２では**「復興パターン３案について」**、ワーク３では**「浦戸地区で住み続けたくなるような楽しい未来の姿」**について、みんなで話し合いました。

事前復興まちづくり計画とは？

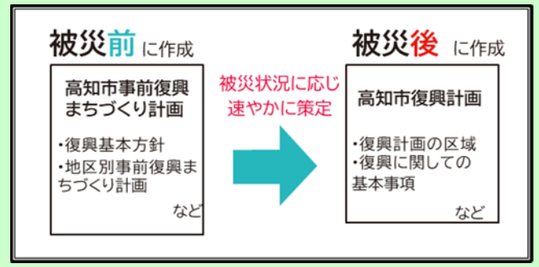
南海トラフ地震を想定し、被災前に復興まちづくりの目標や課題解決のための方策をとりまとめたものです。市で作った計画案を基に、地域の皆さんと一緒に作っていきます。

計画策定の効果

①早期の復旧・復興事業の着手により、街の復興を早める

②適切な基盤整備の規模で被災地を復興できる

③人口流出の抑制につながる



※掲載スペースの関係により、すべての意見を載せてはおりません。ご了承ください。

●ワークショップの内容（予定）

第１回 令和8年7月24日(金) 開催

- 浦戸地区の良いところ・残したいもの、普段の生活で困っていることについて
- 復興パターン３案について
- 楽しくなるような未来のまちについて

第２回 令和8年10月頃 開催予定



- 目指すべき姿（案）について
- 修正復興パターンについて
- 速やかに復興するために必要なことについて

第３回 令和9年1月頃 開催予定

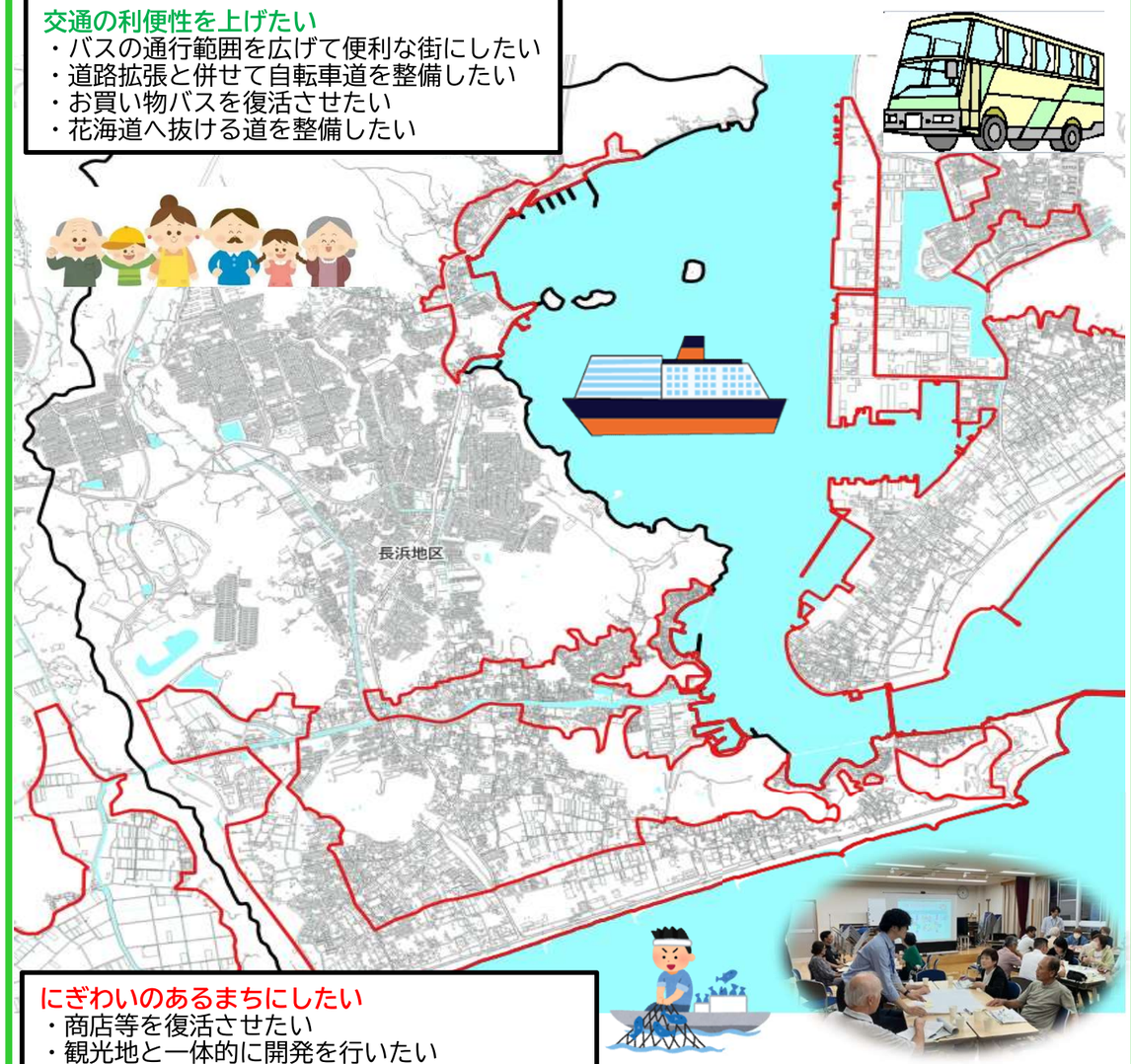
- 修正復興パターン（最終案）について
- 災害が起きる前からできることについて

ワーク３　浦戸地区の楽しくなるような未来のまちについて

今のまちを残したい
- 桂浜や龍馬像など、まちの特色を残したい
- 観光も含め地域全体を残していきたい
- 海が見える良い景色を守っていきたい

地域コミュニティを強めたい
- 若い世代が先の未来を考えれる街にしたい
- 被災後も団結して地区の再構築をしたい
- 若者が多く住む町を作りたい

交通の利便性を上げたい
- バスの通行範囲を広げて便利な街にしたい
- 道路拡張と併せて自転車道を整備したい
- お買い物バスを復活させたい
- 花海道へ抜ける道を整備したい



にぎわいのあるまちにしたい
- 商店等を復活させたい
- 観光地と一体的に開発を行いたい
- 神輿、祭り等の地域イベントを継続させていきたい（若宮八幡宮など）
- 桂浜と一緒にリゾート地を作りたい
- 水産業の維持、発展させていきたい
- 久礼の大正市場ような市場を浦戸に作りたい
- 被災後も団結して地区の再構築をしたい

災害に強いまちを作りたい
- 津波避難の時などに使えるふれあいセンターや文化センターのような大きな施設を作りたい
- 浦戸地区全体の道を広げたい

■お知らせ

（回答はこちらから⇒）

ホームページ上に掲載した「意見投稿プラットフォーム」でも意見を募集していますので、気軽にご回答ください。

■お問い合わせ先

高知市　防災政策課　事前復興まちづくり担当
TEL：088-823-9055
FAX：088-823-9085
Mail：kc-080200@city.kochi.lg.jp

ワーク１　浦戸地区の良いところ・残したいもの、困っていることについて

●暮らし



良いところ・残したいもの

・郵便局が便利
・グループホームが便利
・地価が安い
・騒音がなく、静かで住みやすい
・生活環境が良い
・津波が来てもすぐに山に逃げることができる
・初日の出がきれいに見える
・山・海があり、空気がきれい
・すぐ釣りができる
・海岸沿いの見晴らしが良い
・浦戸分団屯所周辺の桜がきれい
・松林があって景観がいい（並地区）
・自然が豊か



困っていること

・車が無いと生活しにくい

●地域



良いところ・残したいもの

・昔から祭りを継続できている
・地区運動会がある
・伝統文化を守っている（練り子）
・浦戸音頭が良い
・クリスマスとお正月でイルミネーションがある
・通所事業等の運営を地元の住民が運営を手伝っている
・住民同士のコミュニティが強い
・地域イベントが多い
・日頃から住民が助け合っている

困っていること



・空き家が多い
・少子高齢化が進んでいる
・人口減少が進んでいる

●公共交通



困っていること

・公共交通機関が極めて少なく、特に高齢者の買い物等の移動が大変である

●公共施設



良いところ・残したいもの

・浦戸ふれあいセンターの２Ｆから見える夕焼けがきれい
・桂浜水族館がある
・龍馬像残したい
・桂浜公園でのイベントが増えた
・地域のロケーションや観光資源を活用できる空家がある

●産業

良いところ・残したいもの

・龍馬マラソンをやっている（近くて応援に行きやすい）
・どろめが美味しい
・かつおのタタキが美味しい魚屋さんがある



困っていること

・近くにスーパーがない
・若者がいないので活気がない
・コンビニがない
・商業施設が無い
・水産資源が減少傾向ではないか
・働く場所が少ない

●災害



困っていること

・高台が近くにあるが、土砂崩れ等で避難路が通れるか不安である
・発災時、建物が倒れて道が通れなくなるのではないか
・避難タワーがあれば安心できる
・避難路の傾斜が急であるため、高齢者が登れるか不安である
・土地の沈下が心配である
・津波が怖い

●道路



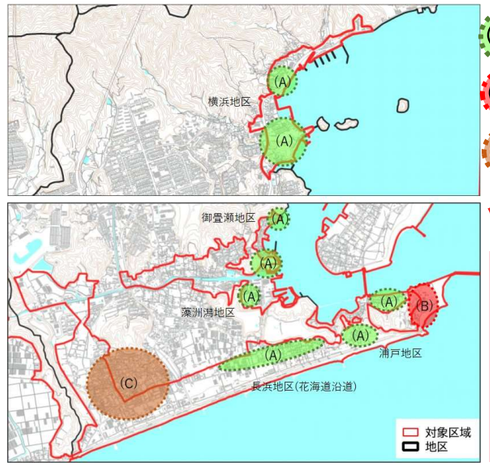
困っていること

・道路が狭いことが防災面、観光面共にマイナス要素である
・浦戸大橋の歩道が狭い
・道が狭いので救急車が入れない
・花海道の交通量が多すぎる

ワーク２　復興パターン３案について

【第1案】嵩上げ案

●被害が大きいと想定される地区を嵩上げすることで、現地で住み続けることができる案



(A) 嵩上げ（土地区画整理事業）
(B) にぎわい形成（桂浜観光拠点の再生）
(C) 市営住宅･改良住宅の再編に合わせた災害公営住宅の検討

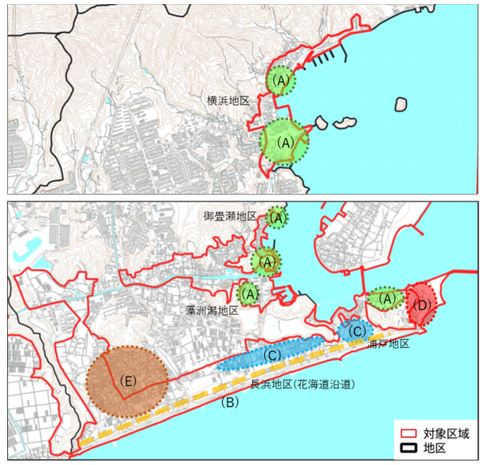
いいね！
・同じ地域に住み続けたいので、嵩上げが良い

ちょっと心配…
・非現実的なのではないか
・元々の集落は道が狭く、その場での復興となると住宅用地が狭くなってしまうのではないか
・地区内は砂地が多いので心配である

こうしてほしいな
・嵩上げと合わせて公営住宅を整備したい
・観光地ならではのデザインを考慮してまちづくりを行いたい

【第2案】嵩上げ（一部）＋二線堤形成案

●被害が大きいと想定される地区（一部）嵩上げと、花海道沿いに二線堤を整備し、内陸の津波浸水を防ぐ案



(A) 嵩上げ（土地区画整理事業）
(B) 二線堤（花海道北川側市道）
(C) 被災市街地の再整備（土地区画整理事業）
(D) にぎわい形成（桂浜観光拠点の再生）
(E) 市営住宅･改良住宅の再編に合わせた災害公営住宅の検討

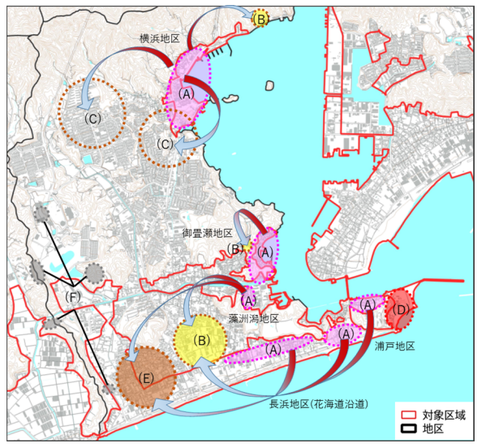
いいね！
・２案が現実的で良い

こうしてほしいな
・二線堤を整備しても景観が損なわないようにしたい
・海岸の堤防や花海道を嵩上げしたほうがいいのではないか

３案の共通意見
・予算や規模を踏まえ、身の丈に合った計画を作りたい
・二線堤等を平時に整備することはできないか

【第3案】移転対応案

●被害が大きいと想定される地区を安全な場所へ移転することで、生命や財産の保護を優先に考えた案



(A) 移転元の集落等
(B) 遊休地等を活用した移転先
(C) 空地、空家を活用した移転
(D) にぎわい形成（桂浜観光拠点の再生）
(E) 市営住宅･改良住宅の再編に合わせた災害公営住宅や移転先住宅の整備検討
(F) 移転候補地（公共用地）

いいね！
・子どもの将来を考えると安全な移転案が良い

ちょっと心配…
・コミュニティが分断されるのではないか
（浦戸東・西地区が対象区域に入っていないため、取り残されてしまうのではないか）
・高齢者が孤立してしまうのではないか

こうしてほしいな
・移転するなら長浜地区でなく、近くの山へ高台移転するべきではないか